

# 平成26年度（平成27年度実施）個別施策評価シート

文教厚生委員会

評価する個別施策	啓発活動
----------	------

項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄は必ず記入してください。

評価項目	評価基準			判断理由・評価コメント	
	点数	チェック	評価点		
個別施策の実現に向けて順調か	概ね順調	76~100		20	社会復帰の啓発活動は見えるが、通学路を中心に設置されている「こども110番の家」の機能を果たしていない事や親子ふれあいや子どもと地域住民の交流事業の施策は記されているが事業が見当たらないため。
	どちらかといえば順調	51~75			
	どちらかといえば遅れている	26~50			
	遅れている	0~25	○		
構成する事務事業は、個別施策を実現するために有効か	個別施策実現のために必要な内容が不足していないか			啓発活動に対する事業が不足している。	
	無駄な事業・内容はないか (不要な事業、類似事業を含む)			無し	
	その他コメント			無し	
施策の今後の方向	注力すべき事業・内容はあるか。どのように改善するか (事業自体はあるが、改善をすべき内容を記載。委託も。)			<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの更なる安全を確保するために、その機能を十分に果たしていない「こども110番の家」の見直しと、通学路周辺にある事業所との連携も図るべき。</li> <li>青少年の目線に立った啓発活動を行うため、本来の目的である青少年の健全育成推進を図るための事業・補助金を見直すべき。</li> </ul>	
	追加すべき事業はないか (事業自体無い、あるいは、不足している内容を記載)			<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの持つスマホ・携帯に対するフィルタリング率が100%になるよう、保護者に対して啓発活動を行うべき。</li> <li>青少年健全育成を推進するために、例えば青少年問題協議会の活用も含めた新しい仕組みを作るべき。</li> </ul>	
	廃止すべき事業・内容はあるか			無し	
	その他コメント (不要だが廃止しない場合の理由、などを記入)			<ul style="list-style-type: none"> <li>少年を守る会について、地域の活動に差があり、また会の趣旨に沿わない事業を行っている現状が見受けられるため、補助のあり方について検討してはどうか。</li> </ul>	
総合コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>啓発活動は手段であり、個別施策と位置付けられていることが適切ではないため、見直しを強く望む。</li> <li>個別施策を達成するための対象事業が十分でない。</li> </ul>				